

類別：機械器具 77 パイプレーター
管理医療機器 一般の名称：家庭用エアマッサージ器(JMDN コード 34663000)

ドクターメドマー DM-6000

【警告】

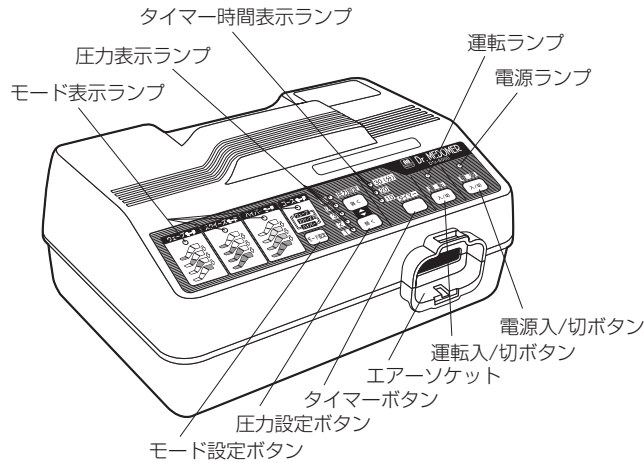
- 次の人は、本機の使用を禁止します。
- ・ 医師からマッサージを禁じられている人
- (例：血栓(塞栓)症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症[皮下組織の炎症を含む]など)
- ・ 発症後 6 ヶ月以内の下肢深部静脈血栓症を患っているか、もしくははその恐れのある場合。
- ※「下肢深部静脈血栓症」とは、下肢全体または膝より下が腫れ上がって痛みがあり、立ったり歩いたりすると痛みが強くなる自覚症状のあることをいいます。
- ・ 装着部におでき、やけど、虫さされなどの急性炎症や化膿性疾患がある場合。
 - ・ 本機の改造、分解、修理は絶対にしないでください。【事故の原因になります。】

【禁忌・禁止】

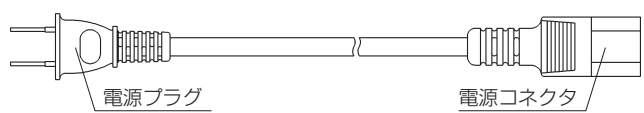
他の治療器と同時に使用しないでください。
[本機の効果が十分発揮できないばかりか、身体に悪影響を及ぼす原因になります。]

【形状・構造及び原理等】

〈本体〉



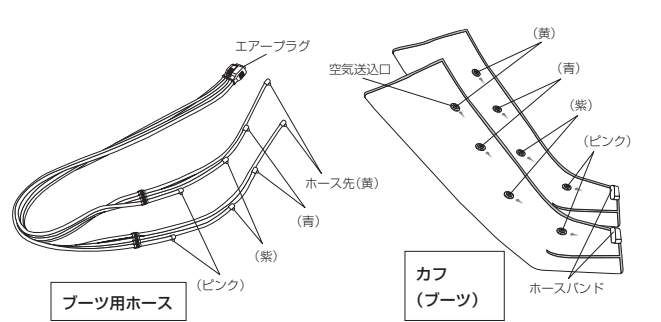
〈電源コード〉



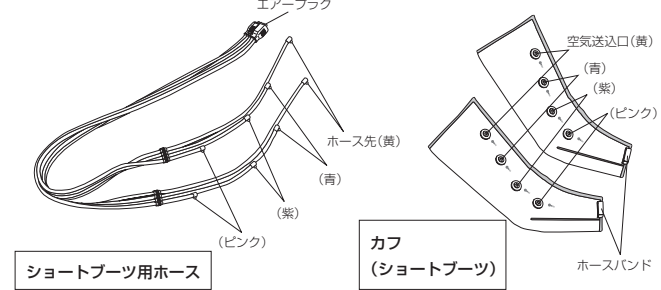
- 本体の寸法及び質量
- ・ 寸法 縦 154×横 315×奥行 222(mm)
 - ・ 質量 4.8kg

- 電氣的定格
- ・ 定格電圧 AC100V (50/60Hz)
 - ・ 定格消費電力 34/29W
 - ・ 定格時間 30 分

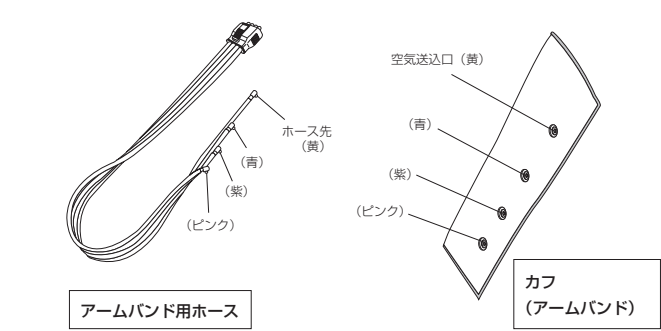
〈ブーツセット〉



〈ショートブーツセット〉



〈アームバンドセット〉



動作原理

本体にはコンプレッサ、制御回路、電磁弁が内蔵されており、カフを加圧・除圧することによりマッサージ効果を得る。コンプレッサと電磁弁は制御回路により制御され、カフの各気室は制御回路のプログラムに従い加圧・除圧を繰り返す。

** 性能及び安全性に関する規格

圧力設定範囲(kPa)	4.0～17.3	
(mmHg)	30～130	
もみ上げサイクル(秒) ※1 (ブーツ 2 本・圧力設定「3」のとき)	ウェーブモード	約 50
	スクイーズモード	約 35
	ハイパーモード	約 24

※1：もみ上げサイクルは、圧力設定・体型によっても変わります。

**【使用目的又は効果】

あんま、マッサージの代用。一般家庭で使用する。

取扱説明書を必ずご参照ください。

※【使用方法等】

ご使用に当たっては、取扱説明書をよくお読みになってご使用ください。また、機器に異常がないか確認してからご使用ください。

(1) 使用時間・使用頻度

1 回の使用時間：30 分以下

使用間隔：3 時間以上

(2) 操作方法

- 1) 電源コードの電源コネクタを本体の AC インレットに接続し、電源プラグを電源コンセント AC100V に差込みます。
- 2) ホースのホース先をカフの空気送込口に接続します。
- 3) エアープラグを本体のエアースocket に差し込みます。
- 4) 電源入/切ボタンを押して電源を入れます。(電源ランプが点灯します)
- 5) カフを被装着部に装着します。
- 6) タイマー、圧力、モードの設定をします。
- 7) 運転入/切ボタンを押す毎に運転と停止ができるか確認します。
- 8) 運転入/切ボタンを押して運転させ、加圧・除圧の順番が末梢から中枢に向かっているか確認し停止させる。
- 9) 運転を開始します。必要に応じて圧力の設定を変更します。
- 10) 終了したら空気がよく抜けてからカフを外す。
- 11) 使用後は、電源入/切ボタンを押し、電源ランプが消えてから、電源プラグを電源コンセントから抜きます。

【使用上の注意】

次の人は必ず医師と相談のうえ使用してください。

症状や病因によっては使用に適さない場合があります。

- ・ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人
- ・悪性しゅよう(腫瘍)のある人
- ・心臓に障害のある人
- ・妊娠初期の不安定期又は出産直後の人
- ・糖尿病などによる高度な末梢循環障害からくる知覚障害のある人
- ・皮膚に創傷のある人
- ・安静を必要とする人
- ・体温 38℃以上(有熱期)の人
(例：急性炎症症状[けん(倦)怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期。衰弱している時。)
- ・骨粗しょう(鬆)症の人、せきつい(脊椎)の骨折、ねんざ(捻挫)、肉離れなど、急性[とう(疼)痛性]疾患の人
- ・本機を使用しても症状の改善が見られない人
- ・本機の使用によりかえって疼痛の増す人
- ・高血圧症と診断されている人
- ・特に身体に異常を感じている人
- ・皮膚の弱い人
- ・施療部位に疾患から生じるむくみや疼痛のある人
- ・施療部位に骨折、脱きゅうのある人
- ・自覚症状の意思表示ができない人
- ・腱鞘炎の人(アームバンド使用時に限る)
- ・上記以外の疾患で医師の治療を受けている人

(1) 使用環境及び使用条件

- ・電源プラグは商用 AC100V 電源コンセントにつないでください。[AC100V 以外で使用するすると正しく作動しなかったり、火災や感電の原因になります。]
- ・ストーブなどの火気の近くで使用しないでください。[火災・故障の原因になります。]
- ・本体に水などをかけないでください。[感電や故障の原因になります。]
- ・ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。[感電の原因になります。]
- ・テーブルタップなどを使用した“タコ足配線”をしないでください。[電源プラグや電源コードが熱くなり、火災や故障の原因になります。]
- ・マイクロ波治療器のアプリケーションからは 1.5 メートル以上離してご使用ください。[事故や故障の原因になります。]
- ・同時に複数の人が使用しないでください。[事故につながる場合があります。]
- ・子供だけで使用させたり、幼児の手の届く場所で使用しないでください。また、子供を本体の上にさせたり、本体のうえで遊ばせたりしないでください。[事故につながる場合があります。]
- ・他の治療器と同時に使用しないでください。[本機の効果が十分発揮できないばかりか、身体に悪影響を及ぼす原因になります。]
- ・異なるカフを同時に使用しないでください。[事故につながる場合があります。]
- ・アームバンドは 2 本同時(両腕)に使用しないでください。[事故につながる場合があります。]
- ・治療目的以外には使用しないでください。
- ・自分で意思表示できない人に使わせないでください。[事故につながる場合があります。]
- ・高齢者の方はハイパーモードまたはコースモードで使用しないでください。また、圧力設定は「3」以下で使用してください。[事故につながる場合があります。]
- ・通常、圧力設定は「3」以下で使用してください。[特にお肌の弱い方は、圧迫痕が残ることがあります。]
- ・本体は使用中、操作できる所に置いてください。[事故につながる場合があります。]
- ・10℃以下で保存された機器をすぐに使用する場合は、圧力設定を「1」にして運転を開始し、5 サイクル以上運転後に圧力設定を変更してご使用ください。[安全装置が作動し、自動停止することがあります。(異常ではありません)]
- ・浴室などの湿気の多い場所で使用しないでください。[故障・感電・火災の原因になります。]
- ・付属のカフまたは専用の別売り品以外は使用しないでください。

(2) 使用前の注意事項

- ・初めて使用する場合、または、しばらく使用しなかった場合は、取扱説明書をよく読み、操作ボタン(タイマー、圧力、モード、運転/停止)が正常に作動するか確認してからご使用ください。
- ・電源コード、エアープラグは容易に離脱しないよう正しく確実に接続してください。
- ・ホース先と空気送入口の色は合わせて接続してください。[色違いで接続をすると正しい加圧順序にならず血行を妨げ、身体に悪影響を及ぼす原因になります。]
- ・使用前に縫製品の破れの有無を点検し、破れがあるときは使用を中止してください。
- ・カフを装着するときは、被施療部のポケットなどに物が入っていないことを確かめてください。[けがをしたり、カフ破損の原因になります。]
- ・アームバンドを装着するときは、腕時計や指輪などを身につけていないことを確かめてください。[腕をけがしたりアームバンドの破損の原因になります。]
- ・カフは決められた部位に装着してください。[正しい部位に装着されていない場合は、身体に悪影響を及ぼしたり、事故の原因になります。]
- ・ホースは折れたり潰れたりした状態で使用しないでください。[加圧・除圧が正常に行われず身体に悪影響を及ぼす原因になります。]
- ・電源プラグやコードが傷んでいる場合は使用しないでください。[事故につながる場合があります。]
- ・電源コードが破損した場合は、お求めの販売店から電源コードを購入してください。
- ・使用前に必ず圧力設定を「1」に設定してください。[事故につながる場合があります。]

(3) 使用中の注意事項

- ・身体に異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、医師と相談してください。[使用を続けた場合、身体に悪影響を及ぼす原因になります。]
- ・本機に異常(発煙、手で触れないほど熱い、音が急に大きくなった等)を感じたときは、直ちに使用を中止し電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、お求めの販売店に連絡してください。[使用を続けた場合、火災や感電の原因になります。]
- ・30分を超えての使用はしないでください。また、次の使用までには少なくとも3時間以上の間隔をあけてください。[筋肉に対して必要以上の刺激となります。]
- ・使用中に停電した場合は、電源プラグを電源コンセントから抜き、エアープラグをエアーソケットから抜いてください。[事故につながる場合があります。]
- ・使用中に立ち上がったたり、歩いたりしないでください。[事故につながる場合があります。]
- ・本体作動時はホース先を目や耳に向けしないでください。[ホース先から出る圧縮空気により目や耳に障害を負う可能性があります。]

- ・使用中にカフの加圧・除圧に異常を感じた場合(加圧が異常に長い。または除圧しないなど)は、すぐに本体のエアーソケットからエアープラグを抜き、カフを脚(腕)から外してください。また、本体は電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。[使用を続けた場合、身体に悪影響を及ぼす原因になります。] この場合には、「使用手順」にしたがって、電源プラグを電源コンセントに差し込むところから始めてください。それでもなお異常がある場合にはお求めの販売店に点検を依頼してください。
- ・使用中にカフのファスナーが開く場合は、ファスナーの破損です。[皮膚、衣類等をはさむ恐れがありますので、すぐに使用を中止してください。]

(4) 使用後及び保管の注意事項

- ・使用後は、電源入/切ボタンを押し、電源ランプが消えてから、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。[事故につながる場合があります。]
- ・電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、電源コードを引張らず、電源プラグを持って引き抜いてください。また、電源コードを無理に曲げたり、重いものを載せないでください。[電源コードが断線し、火災や感電の原因になります。]
- ・各部の汚れをとった後は、直射日光の当たる場所や湿度の高い所を避けて保管してください。
- ・カフに取付けられているホースは、伸ばした状態か、ゆるく巻いた状態で保管してください。
- ・本体およびカフが汚れた場合は、蒸しタオルで拭いて、良く乾かしてください。
- ※・ホースおよびカフは折り曲げたり、重い物を載せたりした状態で保管しないでください。[ホースに折れや潰れ癖がつくと、加圧・除圧が正常に行われず身体に悪影響を及ぼす原因になります。]
- ・本体の上に物を載せないでください。[本体が過熱し、故障の原因になります。また、振動の原因になります。]
- ・本体にはタオルや布地を被せないでください。[本体が過熱し、火災や感電の原因になります。]
- ・本体を倒したり、傾けた状態で使用しないでください。[故障の原因になります。]
- ・本体を踏み台にしたり、上に乗ったりしないでください。[事故につながる場合があります。]
- ・本体に衝撃を与えないでください。(落とす・倒す・蹴るなど)[故障の原因になります。]
- ・針や刃物でホースやカフを傷を付けないでください。[事故や故障の原因になります。]
- ・本体を保管するときは、電源コードを本体にまかないでください。[電源コードの接続部が断線し、火災や感電の原因になります。]

【取扱い上の注意】

- (1) 取扱いを間違えると不具合を生じることがありますので、使用方法、使用上の注意等を厳守してください。
- (2) 消耗品および寿命の終わった本体の廃棄に関しては、地域で定める条例に従って廃棄してください。

【保守・点検に係わる事項】

- (1) 点検や手入れをする際は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。[感電の原因になります。]
- (2) 常に使用前後の点検を励行し、故障又は異常が認められた場合には、販売店または製造販売元に点検修理を依頼してください。
- (3) 機器は、改造しないでください。

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売元 日東工器株式会社
住 所 〒146-8555
東京都大田区仲池上 2-9-4
電 話 03-3755-1111
F A X 03-3755-5294

製 造 元 栃木日東工器株式会社

LQ07068-2

取扱説明書を必ずご参照ください。